



夏季休業です。授業づくり振り返りシートの結果を踏まえ、1学期の授業づくりを振り返り、2学期の授業改善に生かしましょう。授業振り返りシートの結果から、昨年度よりも評価数値の上昇が見られます。先生方が本校で大切にしている点を意識して授業づくりに取り組んでいることが読み取れます。また、小学部：空間の構造化、児童のやりとり、中学部：伝わりやすい話し方、学習のまとめ、高等部：活動の構造化、学習のまとめについては、課題意識をもっていることが読み取れる結果となりました。そこで、ミニ学習会のアンケートにも、「構造化」について知りたいとの意見が複数あったことから、8・9月の学習目標と関連させて、「構造化」に関わる事柄を記載します。

## 生活目標、保健目標、学習目標に関連して

今年度から生活目標、保健目標に加えて、学習目標も全校体制で達成していこうという取組を行っています。そこで、研究部報でも月々の目標に関連する事柄を紹介していきます！

### ◆学習環境を整える「構造化」◆横手のスタンダードP6

#### ◆なぜ、「構造化」を行うのか？

⇒学校で行う「構造化」は、児童生徒が **学びやすくするため** に行う。

#### ◆「構造化」とは？

⇒スケジュールを書き出したり、活動によって場所を分けたり、机の配置や作業の手順を示すなどの工夫をしたり、これらはすべて「構造化」と呼ばれるものです。横手のスタンダードにも、空間・時間・活動・方法の「構造化」として例を挙げています。しかし、「構造化」には画一化されたものは存在しません。児童生徒や学習グループの実態に応じて、「オーダーメイドの構造化」を見つけることが大切です。児童生徒の「できた」「分かった」に向けて、実態に応じた構造化を見つけていきましょう。

参考：特総研「知的障害養護学校の先生のための自閉症教育実践ガイドブック：今の充実と明日への展望」

#### ◆「構造化」の例としては…

##### 【空間の構造化の例】

感覚刺激への配慮として、黒板周りの掲示物に気を配るとはよく聞く話ですが、机の上はどうでしょうか？学習に必要なものを最小限揃えておくことで、学習活動への注意を向けやすくなる児童生徒もいます。



##### 【机上に置く物の例】

- ・鉛筆
  - ・色ペン
  - ・消しゴム
- \*高2の実践より

##### 【時間の構造化の例】

学習の形態や目的によっては、活動の順番を的確に示すことで、児童生徒が見通しをもって学習に向かうことができます。また、時間や活動に見通しをもてることで、学習活動一つ一つの意味を理解し取り組む姿にもつながりやすくなります。示し方は黒板や紙に書いたり、タブレット端末で提示したりと様々あります。



【活動の順番提示】\*高1の実践より

##### 【活動の構造化の例】

今年度、本時のねらいや学習活動内容を的確に提示している授業が増えました。本時に限らず単元全体に見通しをもつことで、本時の学習の意味も理解しやすくなり、児童生徒にとっては目的をもって学ぶことにつながります。また、単元計画等を提示する際には、単に提示するのではなく、児童生徒の実態や学習のテーマに応じて提示することで、児童生徒が単元全体やゴールに意識を向け、学習への期待感につながる可能性もあります。



【単元計画表・学習の階段】

\*小2・3の実践より

##### 【方法の構造化の例】

活動や時間の構造化とも関係がありますが、学習活動のゴール、制作物の完成型や考えていく順番などが分かることで、めあてやゴールを具体的に理解（イメージ）し、学習活動に向かうことができます。他にもマニュアルや手順を用意したり、図示やキーワードを用いて説明したりするなどが考えられます。



【学習のゴールが見える板書】

\*高3の実践より